

事務・事業評価書

		所 属	産業課産業グループ			作成者	渡辺 大輔					
事業コード	60205 - 1	事業名	農業振興推進費			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
		(細事業名)	農業担い手育成事業									
① まちづくり計画での位置付け	編	4.活力あふれる産業を育むまち										
	章	1.農業の振興										
	節	1.農業基盤整備と経営支援										
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 3 担い手育成・確保 (1) 地域担い手育成総合支援協議会及び農業担い手育成センターを中心に、多様な担い手の育成・確保を図ります。 (3) 新規就農希望者や農業体験希望者の受入体制の充実を図ります。										
参考	村長公約での位置付け	番 号	3	産業の振興による地域経済の活性化を進めます								
		細項目	②	農業基盤の整備								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値				
	記載なし											
③ 事業の概要												
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績						
	農業担い手育成センター交付金			1,216千円	1,345千円	1,499千円						
				千円								
				千円								
				千円								
				千円								
この事業の決算額等			決算額	1,216千円	1,345千円	1,499千円						
			うち一般財源等	1,216千円	1,345千円	1,499千円						
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )								
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	担い手対策の一環として、農業後継者の配偶者対策に重点を置き婚活事業を実施しており、この事業を通じてカップルが成立した参加者もいた。参加対象者を農業者以外のコントラ職員、農業法人職員にも拡大し、参加者の増を図っている。											
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
		10 低い		10 高い		10 高い		10 高い		5 全くない		10 高い
	○	7 やや低い		7 やや高い	○	7 やや高い	○	7 やや高い	○	3 少ない		7 やや高い
		4 やや高い	○	4 やや低い		4 やや低い		4 やや低い		1 多い	○	4 やや低い
		1 高い		1 低い		1 低い		1 低い				1 低い
合計												32
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		業務については農協へ移行(平成20年度から)						

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》 農業体験実習生については、ホームページを活用し継続して呼びかけているが、近年問い合わせもない状況にある。担い手対策として、昨年から婚活事業を展開しており、年代層別にするなどより参加しやすい企画内容にするための検証が必要である。</p> <p>《改善の方向》 農業体験実習生の相談窓口の設置や受入体制を確保しつつ、今後の担い手対策として配偶者対策に重点を置き、引き続き「婚活パーティー」を企画し、参加しやすい工夫に努めるとともに、農業関係機関(農業法人やコントラクターなどの従業員)に従事する方も含め対象を広げる。</p>
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<p>北海道農業担い手育成センター及び中札内村のホームページを活用して農業体験実習生を募集したが、実習生の希望者はいなかった。 また、配偶者対策として婚活パーティーを開催し、男性13人・女性12人の参加があった。男性においては、農業関係従事者まで対象を拡大し、コントラ職員や農業法人職員の参加があった。 運営面でも全員と会話できるように工夫するなど交流しやすい雰囲気努め、カップリングが成立した参加者もあつた。</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>参加者の結婚に対する意識の問題もあるが、婚活パーティーにおいて好感度を上げるために、内容の見直しを図っていくほか、参加する男性陣のコミュニケーション訓練や服装の点検など、事前研修の機会が必要と考える。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>婚活事業は、婚活イベントの実績がある会社に事前研修も含め依頼するなど、より効果のある事業に展開していく。今後の婚活事業については、農業者のみではなく、地域の若者全体への支援体制等も検討していくことも必要である。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・婚活事業について、先行事例の情報を収集すること。</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	産業課産業グループ	作成者	石田 勇太										
事業コード	60205 - 2	事業名	農業振興推進費			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続									
		(細事業名)	新元気な畑づくり事業												
① まちづくり計画での位置付け	編	4.活力あふれる産業を育むまち													
	章	1.農業の振興													
	節	1.農業基盤整備と経営支援													
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1 生産基盤の整備 (1) 単独の小規模土地改良事業を推進するとともに、受益者負担の軽減を図ります。													
参考	村長公約での位置付け	番 号	3	産業の振興による地域経済の活性化を進めます											
		細項目	②	農業基盤の整備											
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値								
	記載なし														
③ 事業の概要	小規模土地改良事業(客土・石礫除去・市街地周辺農地の堆肥散布)														
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績									
	客土、石礫除去・堆肥散布・ストーンクラッシャー			4,843千円	3,621千円	3,127千円									
				千円											
				千円											
				千円											
				千円											
この事業の決算額等			決算額	4,843千円	3,621千円	3,127千円									
			うち一般財源等	4,843千円	3,621千円	3,127千円									
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )											
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	小規模土地改良事業の推進によって生産基盤が整備され、農業経営に寄与している。 【事業成果】 H28 客土10件、石礫除去22件、堆肥1件 H27 客土15件、石礫除去28件、堆肥3件、ストーンクラッシャー(以下SC)3件 H26 客土11件、石礫除去27件、堆肥3件、SC14件														
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性				
	10	低い	○	10	高い	○	10	高い	○	5	全くない	○	10	高い	
	7	やや低い	○	7	やや高い	○	7	やや高い	○	3	少ない	○	7	やや高い	
	○	4	やや高い	○	4	やや低い	○	4	やや低い	○	1	多い	○	4	やや低い
	1	高い	○	1	低い	○	1	低い	○	1	多い	○	1	低い	
			合計			39									
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		生産基盤整備は農業経営に大きく寄与されることから、施策として事業実施を図る。									

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》 平成28年度見直し予定が、TPP関係により1年延長、H29年度に向けて見直しを検討。農業者から整備事業のメニューについて、ニーズの把握が求められている。</p> <p>《改善の方向》 平成28年度については、事業メニューからストーンクラッシャーを廃止し、現メニューの規模を若干拡大して実施する。(ストーンクラッシャーは取り止め、除礫・客土の限度額増 除礫 40h ⇒ 50h 客土 50台 ⇒ 60台) 平成29年度新たな元気な畑づくり事業の実施に向けて、農業者からニーズの把握調査を実施し、内容等の検討を行う。</p>
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<p>■平成28年度から、ストーンクラッシャー事業への助成を廃止し、客土と除礫の補助限度額を拡大。 ■平成28年に発生した台風等被害の復旧事業として、平成28年4月1日から平成30年3月31日までに行われる客土事業を対象に、補助基準額を増額。(2,500円/台→3,500円/台) ■平成29年度以降の事業内容を検討するため、十勝管内の市町村を対象に、小規模土地改良事業に対する補助制度の調査を実施。また、村内農業者を対象にアンケートを実施し、元気な畑づくり事業に対する意見を集約。</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>■申請件数が少ない事業メニューがあることから、今後に向けては再度、補助内容の見直しが必要。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>■アンケート等による見直し検討の結果を踏まえ、平成29年度から堆肥助成を廃止し、耕地防風林植栽への助成を追加。 (補助対象:苗木販売額(植栽に係る経費含む) 補助限度額:1箇所につき50,000円以内) また、除礫の補助限度額を増額。(2,500円/h→3,000円/h) ■今後も補助申請実績や農業者のニーズによって、事業内容を検討する。(H28年度に施設課で事業化した圃場生産基盤向上対策事業の統合を含めて検討する。)</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・アンケート回収率を上げる取組をすること。</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	産業課産業グループ	作成者	石田 勇太							
事業コード	60205 - 3	事業名	農業振興推進費		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続						
		(細事業名)	食育・地産地消推進事業									
① まちづくり計画での位置付け	編	4.活力あふれる産業を育むまち										
	章	1.農業の振興										
	節	1.農業基盤整備と経営支援										
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 8 付加価値の向上と販路の拡大 (3) 食の中札内村推進パートナー登録制度の拡大により、安全な農畜産物のPRや販路の開拓・拡大を促進します。 9 生産と生活が育む農村づくり (2) 地産地消・食育・スローフード運動を推進します。										
参考	村長公約での位置付け	番 号	3	産業の振興による地域経済の活性化を進めます。								
		細項目	③	食育、地産地消の推進								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値				
	粋匠品登録数		27	46	45	50		35				
	食の応援団のお店登録数		17	19	20	19		20				
③ 事業の概要	中札内村食育推進計画・地産地消推進計画に基づき効果的な事業の展開を図る。 ・「食の推進パートナー登録制度」登録件数の増加を図り、村内産食材の消費拡大と効果的PRを実施する。 ・「手づくりごはん楽校」の実施により、食育・地産地消を推進する											
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績						
	食の推進パートナー登録制度			282千円	211千円	476千円						
	手づくりごはん楽校			41千円	65千円	59千円						
				千円								
				千円								
この事業の決算額等			決算額	323千円	276千円	535千円						
			うち一般財源等	163千円	196千円	225千円						
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )								
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	毎年、8月と2月に「手づくりごはん楽校」を開催し、子どもたちに対する食育活動を行っているが、参加者も多く好評な事業となっている。											
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
	10	低い	10	高い	10	高い	10	高い	5	全くない	10	高い
	○	7 やや低い	○	7 やや高い	○	7 やや高い	○	7 やや高い	○	3 少ない	○	7 やや高い
		4 やや高い		4 やや低い		4 やや低い		4 やや低い		1 多い		4 やや低い
		1 高い		1 低い		1 低い		1 低い				1 低い
			合計		38							
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input checked="" type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由	現状では、食育推進計画・学校給食など行政が推進する事項ではあるが、将来的には住民へ広く波及させる必要性もあることから、行政・民間の双方がバランス良く対応する事が重要である。							

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》                  スタンプラリーについては参加店の減少や道の駅10周年企画の影響などから応募数が減少(平成26年819人→平成27年553人)。また、パンフレットの記載がわかりにくかったという意見があった。市街・農村部への誘導についても、増額条件を満たした応募者は全体の3割弱程度で大きな増加には繋がらなかった。また、食の応援団のお店の知名度向上には効果があるが、粋匠品の知名度向上にはさほど効果を発揮していないため、両方での知名度向上の取組が必要。</p> <p>《改善の方向》                  スタンプラリー台紙の形状を折畳冊子状にし、また紙の質を向上させて観光客が持って帰りやすくすることで、パンフレットとしての機能強化、応募数の増を目指す。                  3つのスタンプ全てが市街・農村部のスタンプの場合に大きく当選金額が上がるなど、結果に差をつけて市街農村部店舗への誘導を強化する。                  粋匠品及び食の応援団のお店のPR強化として、大型ポスターを作成し、道の駅や改善センターなどに展示し知名度向上を図る。</p> <p>手づくりごはん楽校については参加者からも好評のため継続して行っていく。</p>
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<p>■食の推進パートナー登録制度                  制度PR用ポスターを作成し、改善センターと道の駅(カントリープラザ)に設置。                  食の応援団のお店PR用フライヤーを作成し、道の駅(カントリープラザ)に設置。</p> <p>■食の応援団のお店スタンプラリー                  スタンプ台帳を持ち帰りやすくするため、ポケットサイズに変更。                  村外の観光施設等にスタンプ台帳やポスターを配布し、設置依頼を行った。                  3つのスタンプを道の駅以外の店舗で全て揃えると、当選賞品が1,000円上乘せする制度を導入。</p> <p>■手づくりごはん楽校                  平成28年8月に1回(農協青年部と共同)、平成29年2月に1回実施。</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>■食の推進パートナー登録制度                  登録制度について把握していない村内店舗や事業所があり、また「粋匠品」「食の応援団のお店」が村民や村外観光客に知られておらず、知名度向上のための取組みが必要。</p> <p>■食の応援団のお店スタンプラリー                  道の駅以外の店舗利用者が少ない状況。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>■食の推進パートナー登録制度                  「粋匠品」「食の応援団のお店」PRフライヤーをリニューアルし、手軽に手にとってもらえるよう設置方法も改善するほか、積極的なPRを図る。</p> <p>■食の応援団のお店スタンプラリー                  道の駅店舗にお客が集中している傾向にあることから、集客を村内他店舗の利用に波及させるため、実施方法の検討を行う。</p> <p>■手づくりごはん楽校                  参加者から好評のため、継続して実施する。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・各取組について、わかりやすいPRをすること。</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所属	産業課産業グループ		作成者	馬淵 俊一									
事業コード	60307 -	事業名	牧場管理費			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続								
		(細事業名)	牧場事業												
① まちづくり計画での位置付け	編	4.活力あふれる産業を育むまち													
	章	1.農業の振興													
	節	1.農業基盤整備と経営支援													
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 5 大規模草地育成牧場の運営と整備 (1) 計画的な施設・機械の更新を推進するとともに、草地の更新についても計画的に実施する。													
参考	村長公約での位置付け	番号	3	産業の振興による地域経済の活性化を進めます											
		細項目	②	農業基盤の整備											
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値								
	記載なし														
③ 事業の概要	大規模草地育成牧場の運営に要する経費														
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績									
	牧場管理委託費			110,466千円	112,794千円	112,150千円									
	草地用地・機械借上料			1,705千円	1,598千円	855千円									
	備品購入費			337千円	21,014千円	16,676千円									
	その他(需用費、役務費、原材料費、公課費)			4,054千円	2,136千円	6,086千円									
	施設改修工事費			5,832千円	5,098千円	(211,421千円)									
この事業の決算額等			決算額		122,394千円	142,640千円	135,767千円								
			うち一般財源等		16,355千円	36,835千円	10,485千円								
			国・道補助		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )										
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	牧場の夏期放牧利用頭数は、H28年度は延173,829頭となっており、H27年度延154,710頭より増加している。なお、冬期舎飼については、若干減少している。(H27年度延129,123頭→H28年度126,011頭)														
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性				
	10	低い	○	10	高い	○	10	高い	○	5	全くない	○	10	高い	
	7	やや低い		7	やや高い		7	やや高い		3	少ない		7	やや高い	
	○	4	やや高い		4	やや低い		4	やや低い	○	1	多い		4	やや低い
		1	高い		1	低い		1	低い					1	低い
												合計	45		
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		経営ノウハウを持った民間が行うことにより、運営等に係わる経費を抑制することができる。									

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草地更新により良質な飼料の確保、増収が図られてきているが、冬期舎飼増頭分の粗飼料確保が課題。</li> <li>・受胎率改善を図るため、継続的な体高・体重検査を実施する必要がある。</li> <li>・冬期舎飼預託牛増頭対策として、新設の牛舎建設の検討が必要である。</li> </ul> <p>《改善の方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良質な飼料確保のため、H28年度は6haの草地更新を行う。</li> <li>・受胎率向上のため引き続き体高・体重検査を実施し、関係機関との連携協議を行う。</li> <li>・冬期舎飼預託増頭について、酪農家との協議を実施し、平成29年度新設牛舎建設に向けての取り組みを行う。</li> </ul>
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採草地(6ha)の更新を行った。</li> <li>・前年度に引き続き個体の体高、体重測定を実施した。</li> <li>・国の補助金を活用し牛舎新築に向けた実施設計委託を行い、平成29年度に牛舎建設を行う。(牛舎新築(240頭規模)、附帯設備工事)</li> </ul>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛舎建設に伴う冬期舎飼増頭分の粗飼料の確保を図る必要がある。</li> <li>・牛舎新築に伴い冬期舎飼の使用料の見直し、小型ピロプラズマ病対策に係る夏季放牧の使用料見直しを検討する必要がある。</li> <li>・現在、運営管理を中札内村農業協同組合に指定管理委託しているが、指定管理の見直しに係る話もあることから、今後の管理運営体制について、検討する必要がある。</li> <li>・施設設備、機械が老朽化しているため、計画的な更新が必要である。</li> </ul>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して採草地の更新を行い、粗飼料の増産を図る。</li> <li>・粗飼料確保に向け、放牧地の一部を採草地とするための、草地更新計画を立てる。</li> <li>・酪農家を交えて、今後の牧場運営管理の在り方を検討する。</li> <li>・計画的な施設設備、機械の更新のため、更新計画を立てる。</li> </ul>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	産業課産業グループ		作成者	小野 健一						
事業コード	70102 - 1	事業名	商工振興費			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
		(細事業名)	消費生活対策事業									
① まちづくり計画での位置付け	編	5.自然豊かで快適に暮らせるまち										
	章	4.安全な村民生活の確保										
	節	3.消費者対策の推進										
主要な施策・事業に記載の目的		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1 消費生活相談体制の充実 (1) さまざまな事例に対応可能な、専門的知識を有する相談員の育成を推進します。 (2) 幅広く消費者問題に対応するため、消費者協会を核とした相談体制の強化充実に図るとともに、相談員の適格者発掘に努めます。 (3) 地域の身近な相談窓口として、気軽に相談が受けられる環境を整えます。 2 啓発活動の強化 (1) 潜在する被害防止のため、消費者協会と連携し日常的な消費者教育・啓発活動に努めます。 (2) 村広報紙やホームページ等により、広く消費者情報の提供に努めます。										
参考	村長公約での位置付け	番 号										
		細項目										
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値					
	消費者情報の村広報紙掲載	年6回	年6回	年6回	年6回		年6回					
	啓発講座の開催	年4回	年3回	年2回	年1回		年5回					
③ 事業の概要	地域住民からの被害相談・苦情処理に対応するため、日常的な相談窓口を開設(毎週月・木曜日 13:00~16:00)するほか、広く住民・学校・団体を対象とした情報の周知や啓発などを行う以外にも、年々多種多様化する悪質な手口に対応すべく、相談体制を構築し相談員の資質とレベル向上を図るため、地域の消費者協会へ業務を委託する。 また、北海道消費者行政活性化事業補助金を活用した、村における消費者行政の推進と相談体制の整備などにも努めている。											
④ 事業の内容	事業内容		H26実績	H27実績	H28実績							
	消費生活対策需用費(参考図書・印刷製本費)		38千円	42千円	55千円							
	消費生活対策事業委託料		938千円	977千円	924千円							
	消費生活対策(相談・啓発)備品		0千円	0千円	0千円							
	消費生活対策講習等参加旅費		166千円	179千円	104千円							
この事業の決算額等		決算額	1,142千円	1,198千円	1,083千円							
		うち一般財源等	938千円	743千円	1,083千円							
		国・道補助	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (国/、道10/10)一部事業のみ									
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果												
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
		10 低い	○	10 高い	○	10 高い	○	10 高い		5 全くない	○	10 高い
	○	7 やや低い		7 やや高い		7 やや高い		7 やや高い	○	3 少ない		7 やや高い
		4 やや高い		4 やや低い		4 やや低い		4 やや低い		1 多い		4 やや低い
		1 高い		1 低い		1 低い		1 低い				1 低い
											合計	50
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み		左の理由		守秘義務を持つ事業であるため行政が行うべき事業ではあるが、専門職を養成するまでの期間的な問題や人事異動時の対応等を考えると困難。一定の拘束があることから有償であっても、民間対応である方が人材育成・雇用創出・資格取得などの面で効果的なものと思われる。							

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》                  村の年間相談件数は少ないが、近年の悪質業者等による詐欺被害など年々手口が巧妙・多様化しているため今後も被害の未然防止と啓発活動の推進、相談者が利用しやすい環境づくりが必要となっている。                  こうしたことから、村民が安心して暮らすことのできる地域づくりを推進するため、村内関係機関の連携強化や情報の共有化を図るためのネットワークづくり(体制づくり)が重要となっている。</p> <p>《改善の方向》                  今後も村民が利用しやすい相談体制を整えるため、相談員等の定期的な研修参加や新たな相談員の発掘・養成が求められる。                  地域が連携した体制づくりとして、平成28年度に地域安全推進協議会に地域消費者被害防止部会を新設し、地域が一体となった連携の強化を図ることとしている。</p>
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<p>年間相談件数は、7件(前年8件)となっている。                  啓発活動では、村広報紙における消費生活情報の掲載(3ヶ月毎)のほか、文化祭での啓発パネル展の実施、中札内中学校3年生への啓発授業、成人式・老人クラブ・中札内高等養護学校へ啓発用パンフレットの配布などを実施している。</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>村の年間相談件数は少ないが、近年の悪質業者等による詐欺被害など年々手口が巧妙・多様化しているため、今後も被害の未然防止と啓発活動の推進、相談者が利用しやすい環境づくりが必要となっている。                  こうしたことから、村民が安心して暮らすことのできる地域づくりを推進するため、村内関係機関の連携強化や情報の共有化を図るためのネットワークづくり(体制づくり)が重要となっている。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>今後も村民が利用しやすい相談環境を整える必要がある。また、相談員等の定期的な研修参加や新たな相談員の発掘・養成が求められる。                  地域が連携した体制づくりとして、設立した地域消費者被害防止部会の更なる連携強化を図ることとしている。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	産業課産業グループ			作成者	小野 健一					
事業コード	70102 - 2	事業名	商工振興費			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
		(細事業名)	経営改善普及事業									
① まちづくり計画での位置付け	編	4.活力あふれる産業を育むまち										
	章	3.商工業の振興										
	節	1.活気あふれる商工業の推進										
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1 経営体質の強化 (1) 情勢の変化に対応できる企業・事業者の体質強化を促進します。 2 地域商工業の育成 (2) 魅力ある商工業活動と効果的事業を促進し、商工業の活性化に努めます。 3 まちなか”にぎわい”づくり (5) 商工会活動の活性化を促進するとともに、組織の体制強化を促進します。										
参考	村長公約での位置付け	番 号										
		細項目										
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値					
③ 事業の概要	商工従業員勤続表彰者(25年)への記念品、商工担当者会議などの対応、とかち勤労者共済センター負担金の支出のほか、商工会事務局員に係る職員設置費並びに、商工業者を対象とした経営改善のための事業費と地域振興に要する事業費等の補助を行う。											
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績						
	商工従業員勤続表彰記念品(報償費)			0千円	0千円	50千円						
	とかち勤労者共済センター負担金			70千円	70千円	70千円						
	経営改善普及事業補助金			12,421千円	12,336千円	13,770千円						
	この事業の決算額等			決算額	12,491千円	12,406千円	13,890千円					
			うち一般財源等	12,491千円	12,406千円	13,890千円						
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )								
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	事業内容を精査したうえで、一定のルールに基づき商工会へ経営改善普及事業補助金を交付している。また平成27年度の補助金についても事務検査を11月に実施している。											
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
	10	低い	10	高い	10	高い	10	高い	5	全くない	10	高い
	7	やや低い	7	やや高い	7	やや高い	7	やや高い	3	少ない	7	やや高い
	4	やや高い	4	やや低い	4	やや低い	4	やや低い	1	多い	4	やや低い
	1	高い	1	低い	1	低い	1	低い			1	低い
											合計	32
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		地元商工業の振興と経営指導、自主事業を行う上での舵取り役が商工会であることから、即効性のある事業展開と行政では出来ない臨機応変な対応も望まれる。						

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<<課題・問題点>> 引き続き活動内容の検証を行い、補助金の有効活用を図る。  <<改善の方向>> 商工会の創意・工夫による必要に応じた事業見直し、商工会独自の他の補助金活用など、経営体制の強化を促す。
--------------------	---

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	一定のルールに基づき商工会へ経営改善普及事業補助金を交付するほか、平成27年度の補助金に係る事務検査を11月に実施している。
⑩ 課題・問題点	引き続き活動内容の検証を行い、補助金の有効活用を図る。 補助区分のうち、財政健全化枠については、見直しを図り経営体制の強化を促す必要がある。
⑪ 今後の取組み・方向性	商工会の創意・工夫による必要に応じた事業見直し、商工会独自の他の補助金活用など、経営体制の強化を促す。

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	(Blank)
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止

事務・事業評価書

		所 属	産業課産業グループ		作成者	小野 健一									
事業コード	70102 - 3	事業名	商工振興費			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続								
		(細事業名)	まちなか活性化・賑わいづくり事業												
① まちづくり計画での位置付け	編	4.活力あふれる産業を育むまち													
	章	3.商工業の振興													
	節	1.活力あふれる商工業の推進													
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 3 まちなか”にぎわい”づくり (1) 商店街一帯を地域のコミュニティの場とした商業空間づくりを推進します。 (2) 観光客の商店街への誘導と道の駅をはじめとした地域資源との連携に努めます。 (3) 地場資源の付加価値向上と地域産業との連携によるシステム化・ブランド化を推進します。 (4) 中心市街地の活性化のための個店の魅力向上と商店街の”にぎわい”づくりを推進します。 (5) 商工会活動の活性化を促進するとともに、組織の体制強化を促進します。													
参考	村長公約での位置付け	番 号													
		細項目													
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値								
	空き店舗・空地の有効活用	—					3件								
③ 事業の概要	本村中心部の商店街などに空き店舗等が目立ち、中心街としてのイメージダウンや活性化が図れない状況にあることから、空き地・空き店舗などを活用して、中心市街地の活性化を行い、賑わいのある魅力的なまちなかづくりを推進する。														
④ 事業の内容	事業内容		H26実績	H27実績	H28実績										
	経営改善普及事業補助金(うち、地域振興事業費)		1,704千円	1,631千円	1,680千円										
	にぎわいづくり委員会報償		144千円	85千円	0千円										
	プレミアム商品券事業補助金		4,053千円	6,188千円	4,054千円										
	空き店舗対策事業補助金		466千円	2,874千円	0千円										
	まちなかにぎわいづくり視察(大分県・福岡県)旅費				80千円										
この事業の決算額等		決算額	6,367千円	10,778千円	5,814千円										
		うち一般財源等	6,367千円	10,778千円	5,814千円										
		国・道補助	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )												
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果	平成27年度のまちなかにぎわいづくり委員会からの提言を受け、平成28年10月に職員1名、観光協会職員1名大分県及び福岡県の先進地(木の花ガルデン・オーガニック農園、チャレンジショップ等)を視察し、報告書を作成している。														
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性				
	10	低い	○	10	高い		10	高い		5	全くない	○	7	高い	
	7	やや低い		7	やや高い	○	7	やや高い	○	7	やや高い		7	やや高い	
	○	4	やや高い		4	やや低い		4	やや低い	○	1	多い		4	やや低い
		1	高い		1	低い		1	低い	△	△	△		1	低い
										合計		39			
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み		左の理由		行政主体とした補助事業はこれまで実施して来ているが、商工会における地域振興事業の効果的活用、地元商工業者の自主的活動や沿線住民の理解活動がなければ事業推進は不可能であるため。										

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》 まちなかにぎわいづくりに向けた具体的な方向性、年次、取組内容、先進地視察等による情報収集など一定の検討期間を要する。</p> <p>《改善の方向》 先進地視察等を踏まえ、まちなかにぎわいづくりに向けた具体的な取組を検討する。</p>
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<p>村内における消費を拡大する販売促進事業の一環としてプレミアム商品券(10,000円×2,000組)を12月に販売し完売している。(商品券利用期間は3月31日まで) まちなかにぎわいづくりについては、平成27年度のまちなかにぎわいづくり委員会からの提言を受け、平成28年10月に職員1名、観光協会職員1名が大分県及び福岡県の先進地(木の花ガーデン・オーガニック農園、チャレンジショップ等)を視察している。</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>現段階では委員会提言及び先進地視察を踏まえた具体的な方向性、取組内容等が明確になっていない。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>委員会からの提言書等を踏まえ、村に合うにぎわいづくりの在り方、行政が行うべき部分、民間が行う部分等の整理、具体的な取り組み項目など全体像をまとめ、その上で、計画的(段階的)、具体的な取組を検討する。 ハード面の整備については、関連施設(道の駅、庁舎等)の整備方針と合わせて検討を行う必要がある。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所属	産業課産業グループ			作成者	小野 健一		
事業コード	70104	事業名	観光費			<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
		(細事業名)							
① まちづくり計画での位置付け	編	4.活力あふれる産業を育むまち							
	章	4.観光の振興							
	節	1.資源を生かした観光の推進							
① まちづくり計画での位置付け		主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1. 観光資源の活用 (1) 自然環境を生かし農業、食、民間観光関連施設と連携し、旅・観光の多様化に対応可能な観光を推進します。 2. 観光基盤の整備 (1) 札内川園地など豊かな自然を保全し、環境との調和に配慮しながら、村の魅力を生かした観光基盤の整備に努めます。 (2) 道の駅を村内観光の拠点として位置づけし、観光情報の発信力の向上に努め、関係者の連携を強化しながら、更に魅力あふれる道の駅をめざして取組を行います。 3. 観光の受け入れ体制づくり (2) 観光施設各所の情報共有を図り、効果的な観光PRとイベント情報の提供を行います。 (3) 地域内における適切な情報発信に努め、観光客に優しい受け入れ体制をつくります。 (4) 高速道路網の充実に伴う道央圏域及び首都圏からの観光客誘致のため、関係自治体や関係機関、民間施設等の連携強化に努め、入込客数増加に取り組みます。						
参考	村長公約での位置付け	番号							
		細項目							
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項	目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値	
	観光施設の入込客数		年90万人	年95万人	年88万人	年75万人		年100万人	
③ 事業の概要	観光事業を推進するため、観光振興専門員を配置、観光パンフレットを毎年更新するほか、各種イベントの開催や管内を含め、他地域との連携による観光物産PR・出展などに対応する費用として、補助金を村観光協会に支出する。 近年は、観光パンフレット以外にも、村独自の地域情報誌を作成し全道へ展開させる事で、紙媒体やブログ・フェイスブックなどネットを活用した村の魅力発信並びにトータル的なPR活動を行う。								
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績			
	専門員(推進員)等賃金			2,443千円	1,784千円	0千円			
	観光パンフレット等印刷製本費			97千円	794千円	417千円			
	観光振興(観光協会)事業補助金			4,942千円	5,370千円	14,909千円			
				千円					
この事業の決算額等			決算額	7,482千円	7,948千円	15,326千円			
			うち一般財源等	7,439千円	7,904千円	15,326千円			
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )					
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果									
⑥ 事業の評価	コスト	効果と目的達成度	住民要請・要望度	緊急度・必要性	改善点	先見性・将来性			
	10 低い	10 高い	10 高い	10 高い	5 全くない	○	10 高い		
	○ 7 やや低い	○ 7 やや高い	○ 7 やや高い	○ 7 やや高い	○ 3 少ない		7 やや高い		
	4 やや高い	4 やや低い	4 やや低い	4 やや低い	1 多い		4 やや低い		
	1 高い	1 低い	1 低い	1 低い			1 低い		
								合計	41
⑦ 住民や民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input checked="" type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由	村の観光振興全般の方向性・総括に関しては行政を主体として取組まなければならないが、実際に計画を立て行動を起こす組織としては観光協会を軸とした民間組織による対応も可能であり、行動の幅も広がるものと思われる。				

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》                      ・観光協会の組織独立化に向け、民間経営のメリットを活かした観光情報の発信強化、新たな観光資源の発掘やイベントの実施、農業・商業・行政との連携を強化が必要。</p> <p>《改善の方向》                      ・新たな視点も取り入れながら更なる観光振興の発展を目指す。                      ・観光協会の事務所を豆資料館に移転(6月中)し観光情報発信の強化を図る。</p>
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<p>観光パンフレットを6,000部増刷、飲食店ガイドを10,000部作成し、関係機関へ設置した。                      観光協会の職員を2名採用し、組織を独立化し、事務所も豆資料館に移転(6月)し、観光情報発信を強化した。</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>平成28年度から専任職員を配置し体制変更を行っているが、今後は観光協会が民間経営のメリットを生かし、観光情報の発信強化、新たな観光資源の発掘やイベントの実施等を図り、自立運営ができるよう、村として側面的な支援を図る必要がある。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>民間の新たな視点も取り入れながら、更なる観光振興発展を目指す。                      今年度見直し予定の「観光振興基本計画」において、村の役割と観光協会の役割を明確にしたうえで、観光協会の自立化に向けた支援を行う。                      道の駅の活性化、札内川園地の見直し等観光情勢は大きく変化していることから、村の観光全体に係る基本計画の策定し観光推進方針を定める必要がある。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・オンシーズンの土日には観光協会職員が勤務していた方がいいのでは。勤務体系の調整をすること。</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所 属	産業課産業グループ			作成者	小野 健一					
事業コード	70105	事業名	札内川園地管理費					<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続				
		(細事業名)										
① まちづくり計画での位置付け	編	4.活力あふれる産業を育むまち										
	章	4.観光の振興										
	節	1.資源を生かした観光の推進										
	主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1. 観光資源の活用 (1) 自然環境を生かし農業、食、民間観光関連施設と連携し、旅・観光の多様化に対応可能な観光を推進します。 2. 観光基盤の整備 (1) 札内川園地など豊かな自然を保全し、環境との調和に配慮しながら、村の魅力を生かした観光基盤の整備に努めます。 3. 観光の受入れ体制づくり (2) 観光施設各所の情報共有を図り、効果的な観光PRとイベント情報の提供を行います。										
参考	村長公約での位置付け	番 号										
		細項目	辞退									
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値				
	観光施設の入込客数		年90万人	年95万人	年88万人	年75万人		年100万人				
③ 事業の概要	自然環境並びに各施設の適正な管理を行い、園内一帯の環境保全に努めるとともに、利用者のニーズに沿った施設の維持や貸出等を行うため、管理業務の全般を観光協会へ委託する。											
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績						
	施設小破修繕・遊具修繕			443千円	2,300千円	969千円						
	管理委託			9,526千円	9,533千円	7,605千円						
	施設改修工事			0千円	0千円	8,910千円						
	備品			0千円	0千円	1,296千円						
	この事業の決算額等			決算額	10,732千円	12,615千円	18,780千円					
			うち一般財源等	9,804千円	10,396千円	18,780千円						
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )								
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果												
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
	10	低い	10	高い	10	高い	10	高い	5	全くない	10	高い
	7	やや低い	7	やや高い	7	やや高い	7	やや高い	3	少ない	7	やや高い
	4	やや高い	4	やや低い	4	やや低い	4	やや低い	1	多い	4	やや低い
	1	高い	1	低い	1	低い	1	低い			1	低い
											合計	30
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input checked="" type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由		札内川園地全体の方向性に関しては行政が対策を行うべきであるが、施設・周辺の維持管理などについてはその範囲も限定されることから、民間による一体的管理が可能である。						

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向	<p>《課題・問題点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園地内施設は、建築後20年以上経過している建物もあることから計画的な維持補修が必要な状況となっている。</li> <li>・H27園地内で強風による腐敗した樹木の落下事故があったことから、樹木点検による伐採等が必要となっている。</li> <li>・園地付近では、降雨や降雪による土砂崩れや雪崩の恐れによる道路通行止めが頻繁にあることから不安定な状況が継続している。</li> </ul> <p>《改善の方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園地利用者のアンケートでは、自然を求めて来園する方の割合が多く、必要な維持補修をしながら、費用対効果を勘案しつつ、キャンパーや山岳センターの宿泊者を中心とした利便性・快適性向上を図る。</li> <li>・平成28年度は、レストランびよの営業を取り止め、滝見橋を撤去するほか、園地内の支障木伐採を予定している。</li> </ul>
--------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

⑨ 平成28年度の取組み	レストランびよの営業取り止め、滝見橋の撤去、災害被災したバンガロー3棟及び炊事場等の撤去を行った。
⑩ 課題・問題点	園地内施設は、建築後20年以上経過している建物もあることから計画的な維持補修が必要である。園地付近では、降雨や降雪による土砂崩れや雪崩の恐れによる道路通行止めが頻繁にあることから不安定な状況が継続している。
⑪ 今後の取組み・方向性	園地利用者は、自然を求めて来園する方の割合が多いため、必要な維持補修をしながら、費用対効果を勘案しつつ、利便性・快適性向上を図る。 観光振興基本計画の中で、札内川園地の観光資源の位置づけを明確化し、全体の施設や管理方法等の検討・見直しを行い運営方針をまとめる。(台風で被害を受けた施設の再整備方針を含む)

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

⑫ 村長ヒアリングによる評価結果	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・今後の方針も含めて、園地の全体的な見直しをすること。
⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見	
⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止・廃止

事務・事業評価書

		所 属	産業課産業グループ		作成者	小野 健一						
事業コード	70107	事業名	花づくり推進費			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
		(細事業名)										
① まちづくり計画での位置付け	編	4 活力あふれる産業を育むまち										
	章	4 観光の振興										
	節	1 資源を生かした観光の振興										
① まちづくり計画での位置付け		<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1 観光資源の活用 (2) 継続可能な花づくり体制を構築することで「花のむら」を定着させ、美しい花壇づくりと花フェスタ事業を推進します。										
参考	村長公約での位置付け	番 号	3	産業の振興による地域経済の活性化を進めます								
		細項目	⑦	魅力ある地域資源を生かした民間と連携した観光の振興								
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項 目		現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値				
	花フェスタ観覧者数		年14,000人	年17,000人	年13,000人	事業見直し		年18,000人				
	道の駅ガーデン観覧者数					1,100人						
③ 事業の概要		公共施設などの花壇整備・管理に係る業務委託のほか、毎年の花苗出荷を安定したものとするため、芽だし・育苗・定植・設計など一連の業務について委託を行い実施する。										
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績						
	公共施設花壇管理委託			698千円	703千円	669千円						
	花づくり委託			1,044千円	881千円	735千円						
	花のまちづくり推進員賃金			0千円	0千円	0千円						
	公共花壇花苗、次年度用種子(原材料費)			578千円	512千円	541千円						
	花フェスタ補助金			1,308千円	1,327千円	806千円						
この事業の決算額等			決算額		3,632千円	5,292千円	2,826千円					
			うち一般財源等		3,632千円	5,292千円	2,826千円					
			国・道補助		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )							
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果												
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性	
	10	低い	10	高い	10	高い	○ 10	高い	5	全くない	○ 10	高い
	7	やや低い	○ 7	やや高い	○ 7	やや高い	7	やや高い	3	少ない	7	やや高い
	○ 4	やや高い	4	やや低い	4	やや低い	4	やや低い	○ 1	多い	4	やや低い
	1	高い	1	低い	1	低い	1	低い	/	/	1	低い
		合計		39								
⑦ 住民や民間との役割分担		<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み		左の理由		最終的な方針、花壇の造成又は廃止などは、行政の関わりが必要であるが、花づくりの計画から定植、管理など民間活力への移行が効果的である。						

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》                      近年、花をテーマとする民間企業を中心とする広域的な取組が活発し、観光ニーズに変化が見られることや花フェスタで好評を得ている大型農家花壇等の参加者が高齢等を理由に来年以降参加を辞退したいとの声も複数あることから、オープンガーデン形式の花フェスタ事業については、今後イベント内容を検討する必要がある。                      地元での花苗供給の中心となる花づくりの会の会員も高齢を理由に脱会する方が年々増加しており、花苗供給本数の増加は困難な状況になりつつあり、また育苗を担っていただいているのぞみ園の園生も高齢化による作業負担が年々増加している。</p> <p>《改善の方向》                      これまで花を通じて果たしてきた村の環境美化や景観形成、花の村づくり活動の推進を継続するとともに、これまでの経過や現状を踏まえつつ、新たな視点も取り入れながら花づくりの輪をさらに拡大する必要があるため関係機関と協議を行う。                      平成28年度からオープンガーデン形式の花フェスタ事業は、道の駅を会場とする展示イベント(道の駅ガーデン)に変更する。花苗供給本数については、花づくりの会等の状況も踏まえつつ、花壇設計の変更、外注苗の増、宿根草への切り替え等を適宜検討していく。</p>
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<p>宿根草花壇への切り替えを実施し、合計4,000本程度の花苗を削減した。                      オープンガーデン形式の花フェスタ事業を道の駅を会場とした展示イベント(道の駅ガーデン)へ変更したとともに、村民がイベントに気軽に参加できるよう寄せ植えやハンキングバスケットの講習会を開催している。</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>花苗供給者の高齢化等から花苗の地元調達が難しくなっており、公共花壇の一部については宿根草への切り替え作業を進めている。1年草は村外から調達しているが、将来的には花苗の確保に課題がある。                      花のまちづくり活動も会員の高齢化により、これまでどおりの活動が困難になってきている。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>花苗の調達が難しくなっていることから、切り替えが可能な花壇については、一年草から宿根草への切り替えを進めていく。                      花のまちづくり活動も景観形成の重要な要素となっていることから、花づくりの会だけではなく、行政区やまちづくり関係団体(景観まちづくり委員会等)と連携した村民参加による花のまちづくりを推進する。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・子どもが関わることのできる取組を検討すること。</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>

事務・事業評価書

		所属	産業課産業グループ			作成者	小野 健一								
事業コード	70109	事業名	道の駅関連施設管理費			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続									
		(細事業名)													
① まちづくり計画での位置付け	編	4.活力あふれる産業を育むまち													
	章	4.観光の振興													
	節	1.資源を生かした観光の推進													
① まちづくり計画での位置付け		主要な施策・事業に記載の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 記載あり <input type="checkbox"/> 記載なし 1. 観光資源の活用 (1) 自然環境を生かし農業、食、民間観光関連施設と連携し、旅・観光の多様化に対応可能な観光を推進します。 2. 観光基盤の整備 (2) 道の駅を村内観光の拠点として位置づけし、観光情報の発信力の向上に努め、関係者の連携を強化しながら、更に魅力あふれる道の駅をめざして取組を行います。 3. 観光の受入れ体制づくり (1) 民間の観光施設や地域産業との連携により、観光客のニーズへ柔軟に対応できる受入れ体制づくりを推進します。 (2) 観光施設各所の情報共有を図り、効果的な観光PRとイベント情報の提供を行います。 (3) 地域内における適切な情報発信に努め、観光客に優しい受入れ体制をつくります。 (4) 高速道路網の充実に伴う道央圏域及び首都圏からの観光客誘致のため、関係自治体や関係機関、民間施設等の連携強化に努め、入込客数増加に取り組みます。												
参考	村長公約での位置付け	番号													
		細項目													
② まちづくり計画の「めざすべき目標(数値目標)」と進捗状況	項	目	現状値	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H29目標値							
	観光施設の入込客数		年90万人	年95万人	年88万人	年75万人		年100万人							
③ 事業の概要	村による総体管理以外に、施設や周辺一体の適正管理のため、日常的な管理・運営の全てを指定管理者である商工会に委託(現行、H27年度の1年間)することで、効率的かつ迅速な対応を行う。														
④ 事業の内容	事業内容			H26実績	H27実績	H28実績									
	燃料費(灯油、プロパン、除雪機燃料)			1,011千円	907千円	1,550千円									
	光熱水費(各施設電気料、上下水道料)			6,094千円	6,151千円	6,513千円									
	修繕料(施設修繕、機械修繕、構築物修繕)			1,360千円	925千円	1,841千円									
	道の駅管理・運営委託料			8,275千円	8,254千円	12,769千円									
	工事請負費			0千円	1,652千円	53,611千円									
この事業の決算額等			決算額	18,784千円	20,695千円	76,284千円									
			うち一般財源等	12,942千円	14,846千円										
			国・道補助	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (国 / 、道 / )											
⑤ まちづくり計画の数値目標等で表せない事業成果															
⑥ 事業の評価	コスト		効果と目的達成度		住民要請・要望度		緊急度・必要性		改善点		先見性・将来性				
	10	低い	○	10	高い	○	10	高い	○	5	全くない	○	10	高い	
	7	やや低い		7	やや高い		7	やや高い	○	3	少ない		7	やや高い	
	○	4	やや高い		4	やや低い		4	やや低い		1	多い		4	やや低い
		1	高い		1	低い		1	低い					1	低い
			合計								47				
⑦ 住民や民間との役割分担	<input type="checkbox"/> 行政が行わなければならない <input type="checkbox"/> 行政が行うべきだが、住民や民間で対応が可能 <input type="checkbox"/> 住民や民間が行ったほうが効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 既に住民主体で実施又は民間委託済み			左の理由	道の駅内における商業(販売)と日常的な管理がメインであることから、民間対応が可能であり効果的であると判断を行い、商工会への指定管理を行っている。										

■前年度(平成27年度事業)の評価結果

<p>⑧ 前年度の課題・問題点と改善の方向</p>	<p>《課題・問題点》                  ・道の駅の管理・運営については、現在、豆資料館が村直営、その他施設については指定管理者である商工会が管理していることから一体管理による道の駅の効率的な管理・運営が課題となっている。                  ・道の駅における観光事業の更なる推進、おもてなしの充実、情報発信機能の強化が今後の課題となっている。</p> <p>《改善の方向》                  ・道の駅の管理運営については、指定管理者を商工会から観光協会へ変更となったことにより、道の駅の一体管理を行う。                  ・道の駅魅力向上アクション・プランによるハード・ソフトを含めたワンランクアップの選ばれる「道の駅づくり」を推進するとともに、平成29年度の事業内容など具体的な取組に向けての検討を行う。                  ・平成28年度は駐車場整備(大型専用レーン化、区画数増)、花水山(物産販売所)の増築工事、休憩スペース拡張を予定している。</p>
---------------------------	--

■平成28年度の取組みと課題・問題点に対する方向性

<p>⑨ 平成28年度の取組み</p>	<p>道の駅の課題の整理や新たな魅力向上を図るため庁内検討委員会を開催した。                  駐車場の安全対策を図るため、大型車専用レーンを設置したとともに、合わせて普通車駐車区画数の増を図った。                  花水山(物産販売所)の増築及び店舗前休憩スペースの拡張を行った。</p>
<p>⑩ 課題・問題点</p>	<p>道の駅については、魅力向上アクションプラン(平成27年度策定)に基づき、短期・中長期に取り組むべき方向性を示しているが、全体的な施設の在り方(チャレンジショップの設置、カントリープラザ内調理室機能の移転、インフォメーション機能の集約)を検討する必要がある。                  ソフト面においても、増改築をした花水山を活用した地場製品のPR、食を通じたイベントの開催、情報発信・観光インフォメーション機能の充実等、更なる魅力向上に向けた取組み検討を行う必要がある。</p>
<p>⑪ 今後の取組み・方向性</p>	<p>道の駅魅力向上アクションプランに基づき、ハード面、ソフト面を合わせた施設全体の具体的な方向性をまとめ、魅力情報発信に向けた施策の検討を行う。</p>

■評価(村長評価・村民評価・最終評価)

<p>⑫ 村長ヒアリングによる評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・第2駐車場への誘導の仕方を検討すること。</p>
<p>⑬ 村民評価(総合行政推進委員会)による意見</p>	
<p>⑭ 評価の最終結果(新年度予算の方向)</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 改善・見直し    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 統合    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>